

9月度月例句会 会報・HP掲載句

九月詠草

兼題：女郎花、案山子、当季雑詠

看破して案山子に鴉甲高き	佐藤 政百
なよなよと風そよぎをり女郎花	生江沢五風
女郎花読めぬと孫が聞いてきて	小野 信
釣り糸を垂れる岸辺の女郎花	森 邦彦
おみなえし田舎暮らしを懐かしむ	川田 勝美
観光の役負はされて案山子立つ	城戸崎雅崇
雨やつれ陽やつれ案山子老いにけり	宮川 至剛
一体の案山子見下ろす千枚田	清家 静楓
足元の雀見ぬふり案山子立つ	石原 克己
山風に笠取られをる案山子かな	六川 里風
役解かれ案山子に未だ睨みあり	安井 正浩
蹲踞にはらり白萩散りにけり	中山 知祐
秋灯や二人で帰る田舎バス	大仲 正敏
暗雲の切れ目川面に夏夕陽	眞田 宗興
	以上